

since 1958

おかげさまで  
創刊

64年へ

# 財界九州

ZAIKAIKYUSU

九州・沖縄の「時流」を知る総合情報誌

1

2022  
JAN.

No.1167

## New year Top interview special



九州経済連合会 会長  
倉富 純男氏



九州地方知事会 会長  
広瀬 勝貞氏



九州商工会議所連合会 会長  
谷川 浩道氏



九州経済同友会 代表委員  
青柳 俊彦氏



九州大学 総長  
石橋 達朗氏

## 九州沖縄 2022年展望

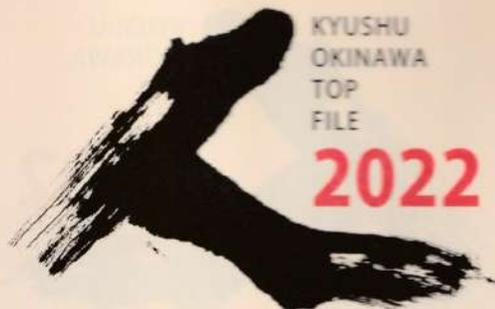
- 【首長選】 沖縄県の現職当選を左右する**求心力**
- 【再開発】 九州初進出のららぽーと福岡が開業
- 【半導体】 シリコンアイランド九州復活の**槌音**
- 【西九州新幹線】 **未着工区間**の議論が棚上げの懸念も
- 【観光】 **感染抑制**と**人流拡大**の両立がカギに
- 【労働法】 子育てなどより**時代に即した改正**に

- 【DX(自治体)】 地域社会変革の**分水嶺**に位置づける
- 【DX(企業)】 企業の**経営・運営システム**に変革の波
- 【医療】 **補助金黒字**で診療報酬引き下げ圧力
- 【流通】 大手主体に**スマートストア**本格普及
- 【MaaS】 アプリ利用率の向上は**観光需要**次第

Nakayama Mineo

# 中山 峰男

崇城大学 学長



九州・沖縄を担うトップ群像

## MEMO

- 1947年9月22日生まれ
- 熊本市出身
- 熊本大工学部卒

積水化学工業勤務を経て80年崇城大に転じ、2003年12月君が淵学園理事長、同大学長に就任。日本私立大学協会九州支部長。健康のため、自宅から大学まで30分ほどの距離を歩き、帰りとも歩いている。帰りは遠回りし、路地裏に入ってみるなど「楽しいひととき」を過ごしている。

## 「学科・コースを再編しeキャンパス化へ」



2021年のコロナ禍では、対面7対オンライン3の割合での授業だったが、本学の学生アンケートで7割から「満足」という評価を得た。文部科学省が定める大学設置基準に、遠隔授業で取得できる単位は124単位中60単位までとあるが、改めて対面授業が重要だと感じた。大学での学びは、学生の自主性や、教員や学友と対面し刺激を受ける中で磨かれるものと信じる。

22年は、4月に生物生命学部の2学科を「生物生命学科」に統合し、生命科学のスペシャリストを育成する。芸術学部美術学科も再編し、フィギュアなどの立体表現を学ぶ「3Dアートコース」と、デジタルツールを使ってイラストを基礎から学ぶ「アート・イラストレーションコース」を新設する。

一方、今後5年をめどに革新的eキャンパス化を図る。文科省の「GIGAスクール構想」によるICT教育を受けた小学生が大学生になるまでには、大学もデジタル教育の力を高めておかねばならない。新設したDX推進本部を旗振り役として、大学の教育システムを大胆に改革していく必要があると考えている。